

加古川中央市民病院

腫瘍・血液内科

指導担当医（役職）

岡村 篤夫（主任科部長）

実習概要

実習コース

2週間コース・4週間コースどちらも可

概要

主治医団の一員として入院患者の診療に参加し、がん患者に対する標準治療の意義や支持療法、適正な輸血療法などについて学びます。また指導医の外来診療にも参加し、診断に至るまでのプロセスや症状マネージメントなどを学びます。診断・治療に必要な基本的な手技についても、適宜見学・経験します。

実習スケジュール

月・水・金：8:30～9:00 モーニングカンファレンス。担当患者のプレゼンテーションを行います。

火（適宜）：9:00～ 造血幹細胞移植に備えて、末梢血幹細胞採取（PBSC）を行います。その後、採取された幹細胞の凍結作業も見学します。

金：16:00～16:30 多職種チームカンファレンス。多職種で入院患者の情報共有・治療目標の確認を行います。

月～金：主治医団のメンバーと入院患者の回診、指導医の外来見学・初診患者の問診を行います。また適宜、骨髄・髄液検査や処置（造血幹細胞移植を含む）等の見学を行います。

学生へのメッセージ

当科は、東播磨医療圏域における大部分の血液病患者の紹介を受けており、全国でも有数の診療規模となっています。固形がんでは、原発不明がんや肉腫など希少がんに対する治療も積極的に行っています。診断から標準治療、造血幹細胞移植、臨床試験や終末期医療に至るまで、患者の人生を長きにわたり支える、リアルワールドでの単施設完結型地域医療を経験して下さい。